

令和3年度 子育てコミュニティーク

日時 11月18日(木)午後7時30分から8時30分まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム2、amyuスタジオ

●グループ①意見一覧

テーマ1:コロナ禍でのお子さんとの過ごし方について

	意見内容
1	コロナで学校が休みになった時、運動不足にならないよう一緒にマラソンをしていた。自宅でどう遊べるか考えた。ゲームは、時間などのルールを決めていたので問題なかった。
2	子どもは家で気が付くとスマホを持っている。何とか手放させようと、食事を一緒に作るようにした。子どもからの食事のオーダーに対応するのが大変だった。
3	自分も在宅勤務で運動不足になるため、子どもと一緒に近所を散歩していた。地域のことが分かって良かった。
4	共働きなので学童に預けていた。土日は、外食ができない分、家でパーティーをして楽しんだ。
5	保護者に簡単なアンケートをしてきた。「規則正しい生活や食事を気を付けた」「ネットのドリルを活用」「家の手伝いをさせた」などの声があった。
6	学校で感染者が出て、子どもが外に出ない、マスクを外さないなど、とても怖がり、どう接して良いか分からない時があった。
7	オンラインの活用が始まっていた自治体もある。もっと早く何かできたのではないかな。
8	去年はコロナで修学旅行も文化祭もできなくてかわいそうだった。その分、受験勉強がしっかりできたこと、家族で一緒に過ごす時間が多かったことは良かった。

テーマ2:保護者が地域に求める交流・連携について

	意見内容
1	自治会や子ども会の活動が希薄になってきている中で、地域との交流・連携はなかなか難しい。
2	睦合中では、地域の防災訓練や清掃に子どもたちを参加させているが、「あまり来てもらっては困る」という声もある。地域の受け入れ態勢が大切では。地域が子どもをどう受け入れるか考え、学校が協力する仕組みの方が良いのではないかな。
3	地域とのつながりは強いと思う。4自治会とPTAとの懇談会があり、朝は通学路に立ってくれて子どものことを知ってくれている。子どもの様子がおかしいと連絡をくれることもある。自治会に入らない世帯にどう入ってもらうか考える必要がある。
4	学校連絡協議会があるが、協力してほしい必要な団体になかなかたどり着けない。話をどこに持って行ったらいいか分かりにくい。役を兼務している方も多いので、新しいメンバーを入れていくことも必要だと思う。自治会に入るメリットを出せるといい。
5	以前は各自治会に一つ子ども会のソフトボールチームがあって活発に活動していた。
6	サッカーなどの習い事があって、子ども会に入らない人が多い。

7	子どもの人数自体が減っているの、子ども会でソフトボールなどのチームを作るのは難しいのでは。藤塚中では野球部が無くなるという話も聞いた。
8	バレーボール部も市内で3校しかないと思う。
9	子どもみこしも減ってきている。
10	小鮎地区では、リバーフェスタやオーバーナイトウォークなどのイベントへの参加を促している。
11	子ども会は大人の仕事も増える。
12	大人の参加も増やさないと交流にならない。参加の仕方が分からない人も多いのでは。
13	青少年健全育成会も新しい人が入りにくいと思う。推薦ではなく全員に意向を聞く必要があるのでは。
14	自治会に入るメリットを感じられない。年上の方が多いい中に、なかなか入っていけないと思う。

●グループ②意見一覧

テーマ1:コロナ禍でのお子さんとの過ごし方について

	意見内容
1	高校生・中学生の子供がコロナで部活動ができなくなった。市の施設も使えなくなった。自分が平日休みの仕事のため、家のそばの公園で一緒にバレーをするようになった。子どもと過ごす時間が増えた。
2	コロナの影響で公園の遊具まで使用を制限されていた。広場も行き場をなくしたスポーツクラブなどが占拠して使えなかった。4歳の子供が外で思いっきり遊べる場所がなかった。対策は理解できるが、せめて屋外の公園など、子供がのびのび遊べるところは開けてほしかった。
3	(去年?)9月に急に緊急事態宣言が出て休校になり、パートで働いているお母さんたちがすごく困っていた。急に仕事を休めないし、急に子供をみてるあてもない。そうなる前から対策できれば。行政として親が急に休める仕組みが作れないか。
4	在宅勤務などにはならなかったの、休校中の子供の様子はわからなかった。PTAの中でもそういう声きかなかった。今思えば、保護者からそういう声を聴く場を設けてもよかったなと思う。
5	仕事が2か月間在宅勤務に。子供の休校の期間と重なったので、夕方子供とランニングした。子どもは友達と会えないのが相当ストレスだったよう。分散登校で仲のいい子と離れてしまい、そこでもストレス感じていた。親が見てもおかしいと思うくらいに様子が違った。通常登校になってからは良くなったが、一時期「学校に行きたくない」と言うこともあった。
6	運動不足対策で子供を散歩に連れ出すようにした。子どもと話す時間が増えて、慣れた道もいつもと違う風に見えていい経験になった。オンライン会議で子供の声が入らないようにするのは大変だった。
7	休校になると、生活習慣の乱れは気にしてた。対策で、決まった時間に散歩に行くのをルールにした。小学生の子供は学校から生活のルールなどを言われていたようで、それを守って起きたり宿題をしたりと生活していた。ゲーム時間が増えがちなので時間を制限してやらせた。公園で遊ぶ時に、子供がマスクを外していると、親の間でうわさになったりしていた。

8	子供が去年6年生で、修学旅行に行けなかったのが悲しそうだった。学校のはからいで代わりに遊園地やホテルランチなどを用意してくれて喜んでた。休校中の宿題がとて多かったので、家でも結構勉強をしていた。休み中にカモミールを種から育てることに挑戦していて、1年かけて花が咲いて喜んでた。普段ならできない経験ができ、コロナや休校も悪くはなかったと言っていた。
9	(市にやってほしかったことや対応への意見などあるか、の問いに) 対策が合っていたのか間違っていたのかが一概に判断できないので、声を上げづらい感じはある。文句を言ったら避難されるのでは、という思いもある。
10	学校では、遠足や修学旅行などの際は参加承諾書を配り家庭の意見を聞く。そこで初めて皆がどう考えているのかがわかる。市も何かを決める時はアンケートでどのような考えを持っている人がいるかを聞くべきでは。
11	シングルや貧困など、経済的に厳しい状況にある家庭をもっと気にかけてほしい。補助に依存する人が増え、国の資金もなくなってきていると聞く。 コロナの影響は続いていて、これから苦しくなる家庭も絶対にある。お金がないせいで教育の機会が奪われる子供がでないように、市でも対策をとってほしい。そういう家庭ほど、補助金や相談窓口などの情報は届きづらいもの。生活に精いっぱい余裕がない。能動的に情報を取りに行かなくても、受動的に情報を得られる仕組みがないか。民生委員に動いてもらうとか…確実に届く術を考えてほしい。 防災無線で相談窓口のことなどを流せないか。行方不明者の情報などよく流しているが、結構耳に入る。

テーマ2: 保護者が地域に求める交流・連携について

	意見内容
1	小学校は地域の方が登下校の見守りでいるんところに立ってくれていた。学校にも入ってきて、プールの見守りもしてくれた。厚木の強みだと思う。夜に子供と歩いていたら、オレンジのベストを着た方が声をかけてくれて、子供は卒業しても名前を憶えてもらえていたことが嬉しそうだった。地域の皆さんに感謝したい。
2	アパート暮らしが長かった。その時は自治会との関わりは何もなかった。そのうち出ていく人、と思われていたんだと思う。大家さんが見かねて広報紙をくれるくらいが地域とのつながりだった。一軒家を購入したらその日に自治会長が訪ねてきて自治会費を徴収された。こんなに扱いが違うのか、とびっくりした。地域との関わりで、入って来る情報にも差があると思った。子ども向けのイベントもいろいろある。子どもにとっては家が一軒家だろうがアパートだろうが関係ない。前に妻が「あれって自治会のイベントだよ、参加できないよね」と言っていたことがあった。その時は参加させてもらえたけれど…。
3	草刈りなどの肉体労働ではなかなかボランティアが集まらない。特に男性。できれば地域の中で親父の会みたいなものがあればいいと思う。
4	地域のイベントは多い。地域の人も積極的で、イベントや登下校でしか子供と触れ合う機会がないのを嘆いていた。学校の中にも入って行って授業などで子供と触れ合えるような、学校の中にも地域の人が入っていける場所が欲しいと言っていた。今はコロナで難しいけれど…。
5	林には青年部があり、草刈りやお祭りなどで子供と触れ合う機会がある。ただ近所の子供への声掛けは、昔より少なくなっていると思う。希薄になりがち時代。
6	地域活動はとても活発。特に小学校は地域の人に頼りながらイベントをやっている。中学校になるとどこも疎遠になるのは、なんでなのか。小学校は地域がかかわる授業がたくさんあるけど中学校はない。子どももさびしがってる。寂しいからといってジュニアリーダーに入ってイベントをやっている。もっと中学校も進むと良い。 (以降、他の人も混ざって言っていた)子供会も役員が嫌で入らない人が増えている。あの子は入ってないから、などと子供同士で遊べない子が出てくる。本来子供のための組織なのに、関係を悪くするものになってしまっている。どうにかできないか。

7	親世代とさらに上の世代(地域の人たち)の交流が全くない。子どもが登校中に転んで見守りの人に手当てをしてもらったという話を聞いても、親はそれがどこの誰かもわからない。親は地域に住んでいるけれど昼間は違う場所にいる。上の世代は地域にいる。その交流が必要。子育てマイスター制度みたいな作れないか。子どもには地域に信頼できる人が必要。現代は家で孤独な子供が多い。地域の人と触れ合える場所が増えるといい。
8	小鮎地区で今年死亡事故が2件起きてる。異常事態だと思う。地域で対策が必要。小鮎いどばた会は20年以上続いているが、今年は「地域で事故を起こさないためにできることは何か」をテーマに話し合う。実際の具体的な対策にまで持っていくつもり。小鮎にはこういったまとまりがあるが、他の地区にもあった方がいい。こういうのやろうよ！って風潮を市でも率先して作ってほしい。
9	地域との交流はとても多い。子どもにとって良い環境。森の里と同じで、中学は全然交流なくてびっくりした。小学校のPTAの頃、通学路の横断歩道が消えかかっているのを、目立たせるために旗をたてた。勝手につけたので苦情が来てすぐに撤去したけど、地域の人を敷地に立てさせてもらえることになった。

●グループ③意見一覧

テーマ1:コロナ禍でのお子さんとの過ごし方について

	意見内容
1	自分の作業をしながら子どもの勉強を見たり、勉強のソフトを端末に入れてやらせたりした。端末が動かさなくて困っていることもあった。目が疲れるのでマッサージをしてあげた。端末をきっかけにしたコミュニケーションが増えた。
2	子どもが、近所の子と人気の少ない朝に散歩することを決めていた。生活のリズムを整えた。
3	コロナ禍での過ごし方についてアンケートを取った。生活が変わったか、ゲーム・動画の時間が増えたか、子どもがイライラしているかなどを聞いた。
4	家でBBQをしたり、カードゲームをしたり、家庭内で工夫できた。しかし、本来ならば経験できた地域の祭りが経験できなかった。動画視聴やゲームの時間が増えて、体への影響が心配。
5	家にいる時間は増えたが、オンライン授業などで机には向かっていたので、関わる時間は大きく変わっていない。
6	地域のイベントがなくなったことは、子どもは寂しい。3年間しかないもので、かわいそうに思う。
7	苦労したことはあまりない。リモート授業を始める時期が学校によって違ったので、勉強の遅れが心配だった。
8	子どもとの付き合い方が変わった実感はないが、子どもが神経質になった。
9	端末は勉強だけでなく災害時などの情報発信にも有効だと思う。どんどん進めていただきたい。
10	子どもが中高生であまり手が掛からず、自分も仕事をしているので、あまり変化はなかった。子どもだけの時の過ごし方はよく知らない。共通の話題があまりない。ただ、きょうだい同士の仲は良かった。
11	ずっときょうだいで遊んでいたのが、学校が始まって他の人と関わるのが怖いと言っていた。感染を気にしてマスクが外せない、給食が食べられないということがあった。
12	年齢によって手の掛かり方が違う。両親としてはずっと子どもと一緒に疲れた部分もあり、距離感が大切だと思った。

テーマ2:保護者が地域に求める交流・連携について

	意見内容
1	オンラインゲームがコミュニケーションの場として成立してしまっていて、地域の方と接する機会が少ない。本当は祭りやイベントに参加させたい。
2	太鼓連に所属している。お祭りがなくて、披露する場がない。地域で継承している文化が止まってしまっている。
3	集まる場所が減っている。子ども会もなくなってしまったので、機会もない。
4	地区内に公園が一つもない。子どもは通路で遊んでいるが、事故が心配。すぐ解決するのは難しいと思うが、課題だと思っている。
5	クラブチームの行事が地域行事と被ると、クラブを優先しがち。何とか連携が取れないかと思う。
6	率先して地域活動に子どもを参加させる流れをつくってもらいたい。→睦東中生は防災訓練と美化清掃に参加している。
7	ジュニアリーダーが減っている。子ども会もそうだが、一度なくしてしまうと復活が難しいので、何とか続けてもらいたい。
8	公園の使い方に制限がある。ボール遊び禁止、騒ぐの禁止など。、いろいろな方がいるので難しいかもしれないが、近隣の自治会の方に理解していただきたい。
9	日本や地域の文化を子どもに経験させたい。
10	登校班の運営に温度差がある。参加できる人、できない人がいる。できれば、地域の人に手伝ってもらいたい気持ちもある。
11	子どもが叱られ慣れて親の言うことは聞かなくなってきたので、地域の人に言われた方が効くかもしれないと思って行事に参加させている。
12	ここ10年で引っ越してきたので、周りに知り合いがあまりいない。関わるきっかけがないまま来てしまっている。

●グループ④意見一覧

テーマ1:コロナ禍でのお子さんとの過ごし方について

	意見内容
1	特段意識したことはなかった。子どもは、家で勉強するより塾のほうが楽しいと言っていた。
2	高校受験に向けて、勉強をよくするようになった。スマホを触る時間が少なくなるように意識付けした。
3	子どもは、自宅での自習は難しいが、課題はこなせた。課題は親が直接先生に渡すことで、先生とコミュニケーションが取れたのはよかった。
4	外に遊びに行けないので、朝キャッチボールをするようになった。家で自主的に勉強しなかったため毎日課題を渡した。

5	子どもとテレビゲームをする時間が増えた。勉強を教えてと言われても、先生のように教えられない自分に苛立った。
6	SNSを使う時間が増え、家族のコミュニケーションが減ったので、スマホを触らない時間を家族内で設けるようになった。
7	スマホやゲームをする時間が多くなったので、子どもと散歩をするようになった。
8	子どもと散歩や外食で気分転換ができるよう心掛けた。
9	除菌や体調の変化に気を付けながら過ごすようになった。新たに、子どもと料理をするようになった。
10	市内の公園が閉鎖になり、伊勢原まで行った。

テーマ2: 保護者が地域に求める交流・連携について

	意見内容
1	子ども会や育成会に参加している。地域の方から、戦争の話や昔遊びを教えてください。
2	地域の大人と接し、お互いの信頼を築けたら良い。
3	GIGAスクールが進んでいるが、各家庭のネット通信環境は差があると思うので、補助などがあると助かる。
4	小学校は地域に参加することが多いが、中学校で減る傾向にある。地域で、ボランティアができる場があるとありがたい。
5	抜け道が多く、通学路に危険なところがある。看板の設置をしてほしい。
6	地域の歴史などを知れると地元へ愛着が持てると思う。小学生への防災用ヘルメットの支給はできないか。また、公園を囲う木が大きく伸びているのは、防犯の観点で良くないと思う。
7	中学生になると地域との交流の場面自体が減るので、小学生の時と変わらずに声掛けだけでもありがたい。
8	部活などで、地域と関わる機会が減っている
9	地域の活動に参加して、地域の方に知ってもらうことが大切だと思う。参加の有無は親の判断もあるので、親も一緒に参加できたほうが友好的だと考える。また、小学生は地域で行われる活動を知らないので、学校から配られる学校行事カレンダーに入れてみてはどうか。